

研究会実績

◆第1回～第78回研究会は防衛法研究第14号(1990年)を、第79回～第100回は防衛法研究第30号(2006年)を、第101回～第141回は防衛法研究第38号(2014年)の表記に準拠している。

第1回研究会 昭和50年6月7日(土)

麻生茂氏(国会図書館立法考査局長・元防衛研修所所長)「防衛二法概説」【於防衛研修所】

第2回研究会 昭和50年7月5日(土)

加藤陽三氏(防衛政務次官)「防衛二法の制定経緯について」【於防衛研修所】

第3回研究会 昭和50年9月20日(土)

足立純夫氏(防衛大学校講師)「国際法的側面よりみた自衛隊法」【於市ヶ谷会館】

なお、当日は研究会に引続き、第1回総会を開き、規約、会費、今後の運営方針等を決定。

第4回研究会 昭和50年11月15日(土)

芥川哲士氏(防衛庁部員)「海洋法国際会議について」【於防衛研修所】

第5回研究会 昭和51年2月14日(土)

宮崎弘毅氏(元陸幕法規班長)「自衛隊法成立の背景について」【於市ヶ谷会館】

第6回研究会 昭和51年5月1日(土)

山田康夫氏(防衛級醜女第二研究室長)「西独の防衛法制について—とくに規律、懲戒、軍刑法を中心として」【於防衛研修所】

第7回研究会 昭和51年6月5日(土)

大平善梧氏(一橋大学名誉教授)「在韩国連軍の地位について」【於防衛研修所】

第8回研究会 昭和51年10月23日(土)

犬丸秀雄氏(共立女子大学教授)「憲法第九条の成立過程について」、梅本崇氏(駒澤大学助教授)・西修氏(駒澤大学助教授)「長沼事件控訴審判決について」【於東京グランドホテル】

第9回研究会 昭和52年3月19日(土)

口野昌三氏(弁護士・元陸将)「自衛隊裁判」【於市ヶ谷会館】

第10回研究会 昭和52年5月28日(土)

久保卓也氏(国防会議事務局長)「わが国の安全保障と国防会議」【於防衛研修所】

第11回研究会(憲法学会との合同研究会) 昭和52年7月20日(水)

(1) 法の妥当性

長谷川日出世氏(早大大学院生)

(2) 憲法第九条とわが国の安全保障

① 自衛戦力合憲論 市川生義氏(亜細亜大学)

② 海洋をめぐる諸問題 阿層沼広郷氏(海洋国際問題研究所)

③ 平和的生存権・交戦権学説について 宇都宮静男氏(駒澤大学)

④ 憲法第九条の解釈について 林朝門氏(金沢工業大学)

⑤ わが国防衛法制の諸問題 西修氏(駒澤大学)

【於学士会館】

第12回研究会 昭和52年10月29日(土)

大平善梧会長「欧米雑感」(報告)、宮脇岑生氏(国会図書館)「アメリカの戦争権限法について」【於防衛研修所】

第13回研究会 昭和53年2月4日(土)

- 林修三氏(元内閣法制局長官)「最近の自衛隊裁判—とくに長沼控訴審判決、百里基地第一審判決について—」【於日本倶楽部】
- 第14回研究会 昭和53年5月13日(土)
田上穰治氏(一橋大学名誉教授)『『文民』条項について』【於日本倶楽部】
- 第15回研究会 昭和53年7月8日(土)
田代一正氏(日本銀行理事・元防衛事務次官)「わが国のシビリアン・コントロールについて」【於日本倶楽部】
- 第16回研究会 昭和53年9月5日(土)
白川元春氏(三菱電機顧問・元統合幕僚会議議長)「シビリアン・コントロールを考える」【於日本倶楽部】
- 第17回研究会 昭和53年11月18日(土)
宮崎弘毅氏「自衛隊発足時におけるシビリアン・コントロール」、吉原恒雄氏(時事通信社政治部)「ジャーナリストからみたシビリアン・コントロール」【於TBR】
- 第18回研究会 昭和54年3月3日(土)
小林宏農氏(上智大学教授)「西ドイツにおけるシビリアン・コントロール」、柏木明氏(統合幕僚学校副校長)「フランス国防体制とシビリアン・コントロール」【於霞山会館】
- 第19回研究会 昭和54年6月9日(土)
安田寛氏(防衛大学校講師)「いわゆる栗栖発言をめぐる法的諸問題」【於日本倶楽部】
- 第20回研究会 昭和54年7月7日(土)
高井晉氏(防衛研修所教官)「英国留学を終えて」、足立純夫氏(防衛大学校講師)「国際法からみた安全保障」【於TBR】
- 第21回研究会 昭和54年9月29日(土)
川上健三氏(外務省参与)「日本の領土問題」【於日本倶楽部】
- 第22回研究会 昭和54年12月8日(土)
山口開治氏(国士館大学教授)「海洋法と安全保障」、伊藤憲一氏(外交評論家)「一九八〇年におけるアメリカの外交」【於市ヶ谷会館】
- 第23回研究会 昭和55年3月15日(土)
福富繁氏(日本市民防衛協会事務局長)「わが国の安全保障と市民防衛」【於TBR】
- 第24回研究会 昭和55年5月24日(土)
セオドア・マクネリー氏(メリーランド大学教授)「憲法第九条の起源」(於湯島会館)
- 第25回研究会 昭和55年9月27日(土)
田久保忠衛氏(外交評論家)「最近の国際情勢について」【於日本倶楽部】
- 第26回研究会 昭和55年11月1日(土)
(シンポジウム)「国際海峡の航行権について」
(報告書) 柘山堯司氏(日本大学講師)、布施勉氏(明星大学講師)
(ディスカッション) 大平善梧氏(一橋大学名誉教授)、高井晉氏(防衛研修所教官)
(司会) 奥原敏雄氏(国士館大学教授)
【於日本倶楽部】
- 第27回研究会 昭和55年12月13日(土)
奥原敏雄氏(国士館大学教授)「ソ連原潜の事故と国際法上の無害通行権」(於サンケイ会館)
- 第28回研究会 昭和56年2月21日(土)
大賀良平氏(元海上幕僚長)「海上自衛隊をめぐる法的諸問題」【於日本倶楽部】
- 第29回研究会 昭和56年4月4日(土)

- (シンポジウム)「憲法第一八条と徴兵制」
(報告書) 田上穰治氏(一橋大学名誉教授)、西修氏(駒澤大学教授)
(司会) 安田寛氏(防衛大学校教授)
【於日本倶楽部】
- 第30回研究会 昭和56年6月13日(土)
大平善梧氏(一橋大学名誉教授)「憲法第九条第二項の交戦権をめぐる諸問題」【於日本倶楽部】
- 第31回研究会 昭和56年10月31日(土)
宮崎弘毅氏(本会理事)「陸上自衛隊をめぐる法的諸問題(問題提起)」【於日本倶楽部】
- 第32回研究会 昭和56年11月26日(土)
クリストフ・スウィナルスキー氏(赤十字国際委員会法務部)「国際人道法と一九七七年ジュネーブ追加議定書」【於日本倶楽部】
- 第33回研究会 昭和56年1月26日(木)
下田耕士氏(元陸軍法務課長)「沖縄・自衛隊をめぐる法的諸問題」【於日本倶楽部】
- 第34回研究会 昭和57年4月3日(土)
石沢芳治郎氏(拓殖大学教授・元防衛大学校教授)「防衛費の経済学的考察」【於日本倶楽部】
- 第35回研究会 昭和57年6月5日(土)
宮崎弘毅氏(本会理事)「陸上自衛隊をめぐる法的諸問題(総括)」【於日本倶楽部】
- 第36回研究会 昭和57年9月25日(土)
竹田五郎氏(元統合幕僚会議議長)「航空自衛隊をめぐる法的諸問題」【於日本倶楽部】
- 第37回研究会 昭和57年11月20日(土)
丸山昂氏(当時、事務次官)、竹田五郎氏(当時、北部航空方面隊司令官)、大賀良平氏(当時、護衛艦隊司令官)、近藤靖氏(当時、第十一師団長)「ミグ二五事件の教訓(シンポジウム)」【於日本倶楽部】
- 第38回研究会 昭和57年12月11日(土)
松本健一氏(空法研究会常務理事)「飛行訓練上の問題点」、関口雅夫氏(駒澤大学教授)「宇宙法の基本原則とデミタラーゼーションの関係」【於日本倶楽部】
- 第39回研究会 昭和58年2月26日(土)
安田寛氏(防衛大学校教授)「領空侵犯をめぐる法的諸問題」【於日本倶楽部】
- 第40回研究会 昭和58年4月16日(土)
犬丸秀雄氏(国際商科大学客員教授)「ハッシー文書と憲法九条」【於日本倶楽部】
- 第41回研究会 昭和58年6月11日(土)
竹岡勝美氏(元防衛庁調達実施本部長)「元防衛官僚の苦悩」【於霞山会館】
- 第42回研究会 昭和58年10月1日(土)
鈴木敏通氏(元陸上幕僚長)「隊員の服務について」【於日本倶楽部】
- 第43回研究会 昭和58年11月26日(土)
大平善梧氏(一橋大学名誉教授)「グロチウスの法体系の特徴」【於日本倶楽部】
- 第44回研究会 昭和59年1月29日(土)
足立純夫氏(防衛大学校教授)「隊員の服務に関する比較的考察」【於日本倶楽部】
- 第45回研究会 昭和59年3月24日(土)
三木秀雄氏(本会会員)「隊員の表現の自由について—ケース・スタディを通じて—」【於日本倶楽部】
- 第46回研究会 昭和59年5月20日(日)
佐瀬昌盛氏(防衛大学校教授)「日米安全保障体制と核の傘」【於日本倶楽部】

- 第47回研究会 昭和59年9月8日(土)
栗栖弘臣氏(元統合幕僚会議議長)「国防中央機構」【於日本倶楽部】
- 第48回研究会 昭和59年10月20日(土)
麻生茂氏(元防衛研究所長)「国防会議設置の経緯」【於日本倶楽部】
- 第49回研究会 昭和59年12月1日(土)
丸山昂氏(元防衛事務次官)「内局のあり方について」【於日本倶楽部】
- 第50回研究会 昭和60年2月2日(土)
川島弘三氏(防衛大学校助教授)「中国人民解放軍の中央指導機構」【於日本倶楽部】
- 第51回研究会 昭和60年5月11日(土)
西修氏(駒澤大学教授)「米留学を終えて」【於日本倶楽部】
- 第52回研究会 昭和60年7月13日(土)
前田米子氏(一等陸佐)「婦人自衛官について」
- 第53回研究会 昭和60年10月5日(土)
土田国保氏(防衛大学校校長)「防衛大学校の現状と展望」【於日本倶楽部】
- 第54回研究会 昭和60年11月30日(土)
林修三氏(元内閣法制局長官)・田上稔治氏(一橋大学名誉教授)『靖国神社公式参拜』の憲法的考察」(於私学会館9)
- 第55回研究会 昭和61年1月25日(土)
森清氏(衆議院議員)「いわゆるスパイ防止法について」【於日本倶楽部】
- 第56回研究会 昭和61年4月5日(土)
大賀良平氏(元海上幕僚長)「中期防衛力整備計画の問題点」【於日本倶楽部】
- 第57回研究会 昭和61年6月7日(土)
富田定幸氏(防衛大学校教授・陸将補)「自衛官の人事制度の改訂について」【於日本倶楽部】
- 第58回研究会 昭和61年9月27日(土)
三井康有氏(内閣審議官)「安全保障会議について」【於日本倶楽部】
- 第59回研究会 昭和61年11月15日(土)
三木秀雄氏(防衛大学校教授)「占領軍の日本防衛計画」【於日本倶楽部】
- 第60回研究会 昭和62年2月14日(土)
夏目晴雄氏(前防衛事務次官)「日米防衛協力における諸問題」【於日本倶楽部】
- 第61回研究会 昭和62年4月11日(土)
浜谷英博氏(国士舘大学助教授)「第百米国会議と対日防衛一戦争権限法と日米安保」【於日本倶楽部】
- 第62回研究会 昭和62年6月20日(土)
小林宏農氏(日本大学教授)「西ドイツにおける兵役拒否の法的側面」【於日本倶楽部】
- 第63回研究会 昭和62年9月19日(土)
村井友秀氏(防衛大学校助教授)「ソ連の民族問題・国境問題」【於日本倶楽部】
- 第64回研究会 昭和62年11月28日(土)
滝沢一郎氏(防衛大学校助教授)「最近のソ連の軍事動向」【於日本倶楽部】
- 第65回研究会 昭和63年2月27日(土)
クリストファー・ラフルアー氏(米国大使館一等書記官)「アメリカの安全保障政策」【於日本倶楽部】
- 第66回研究会 昭和63年4月23日(土)
川中子真氏(近畿大学教授)「政府情報の指導と伝達—テロとメディア」【於日本倶楽部】

- 第67回研究会 昭和63年7月2日(土)
小林宏農氏(日本大学教授)「国際テロリズムの法的諸問題」【於日本倶楽部】
- 第68回研究会 昭和63年10月1日(土)
大場昭氏(防衛研究所図書館長)「国際テロリズムへの対応—逃亡犯罪人引渡しの困難性と憲章第五一城の解釈の拡大」【於日本倶楽部】
- 第69回研究会 昭和63年12月3日(土)
足立純夫氏(軍事法・国際法国際学会理事)「国際テロリズムと国際人道法」【於日本倶楽部】
- 第70回研究会 平成元年2月25日(土)
ピーター・キュンク氏(赤十字国際委員会東アジア代表)「国際人道法の現況」(於赤十字本社)
- 第71回研究会 平成元年4月22日(土)
小森義峯氏(国士舘大学教授)「憲法改正への王道—安田寛教授の『明治憲法復元論批判』に答える」【於日本倶楽部】
- 第72回研究会 平成元年5月20日(土)
ウィリアム・ファレル氏(米海軍大学教授)「テロリズムとデモクラシー」【於市ヶ谷会館】
- 第73回研究会 平成元年7月8日(土)
吉原恒雄氏(時事通信社)「日本の防衛制度—その現状と問題点」【於市ヶ谷会館】
- 第74回研究会 平成元年9月30日(土)
越智尚氏(上智大学講師)「東ドイツの国防制度—世界の国防制度シリーズ・その二」【於市ヶ谷会館】
- 第75回研究会 平成元年12月2日(土)
永澤勲雄氏(防衛大学校講師)「中東諸国(特にイラン、イラク、シリア)の現状と国防体制—世界の国防制度シリーズ・その三」【於市ヶ谷会館】
- 第76回研究会 平成2年2月3日(土)
西侯昭雄氏(亜細亜大学教授)「中南米諸国の国防制度—世界の国防制度シリーズ・その四」【於市ヶ谷会館】
- 第77回研究会 平成2年4月14日(土)
郷田豊氏(防衛研究所調査員)「NATO・WPOの国防体制と現状—世界の国防制度シリーズ・その五」【於市ヶ谷会館】
- 第78回研究会 平成2年6月9日(土)
六鹿茂夫氏(埼玉女子短期大学助教授)「内政と外政のリンケージ—ルーマニア対ソ連自主路線と独裁体制—世界の国防制度シリーズ・その六」【於市ヶ谷会館】
- 第79回研究会 平成2年9月29日(土)
玉城泰氏(現代コリア研究家)「北朝鮮の経済力と軍事力」【於防衛研究所】
- 第80回研究会 平成2年12月1日(土)
高井晉氏(防衛研究所所員)「国連の平和維持活動について」【於市ヶ谷会館】
- 第81回研究会 平成3年2月16日(土)
パネルディスカッション「国際平和協力の法的研究」
パネリスト:小林宏農氏(日本大学教授)、三木秀雄氏(防衛大学校教授)、吉原恒雄氏(時事通信社)【於市ヶ谷会館】
- 第82回研究会 平成3年4月13日(土)
パネルディスカッション「国際平和協力の法的研究(その二)」
—国連待機軍制度について—
パネリスト:高井晉氏(防衛研究所研究室長)、浜谷英博氏(国士舘大学助教授)、松浦一夫氏(防

- 衛大学校講師)【於市ヶ谷会館】
- 第83回研究会 平成3年5月25日(土)
森永和彦氏(防衛大学校教授)「日ソ新時代のアジア安全保障について」【於市ヶ谷会館】
- 第84回研究会 平成3年7月6日(土)
松原脩雄氏(社会党衆議院議員)「私の考える安全保障政策—国際貢献問題を中心として」【於市ヶ谷会館】
- 第85回研究会 平成3年9月28日(土)
西修氏(駒澤大学教授)「諸外国の憲法・国防問題—帰朝報告に代えて」【於市ヶ谷会館】
- 第86回研究会 平成3年11月30日(土)
高井晉氏(防衛研究所研究室長)「カナダ型国連待機軍制度について」【於市ヶ谷会館】
- 第87回研究会 平成4年2月15日(土)
浜谷英博氏(国士館大学助教授)「第二次PKO法案の問題点と日本型国連常設軍構想」【於市ヶ谷会館】
- 第88回研究会 平成4年4月18日(土)
杉山茂雄氏(法政大学教授)「PKOの虚像と実像:日本参加に向けての現実的対応策を考える」【於市ヶ谷会館】
- 第89回研究会 平成4年6月20日(土)
越智尚氏(武蔵野短期大学助教授)「私たちは核とともに生きなければならない」(於上智大学)
- 第90回研究会 平成4年11月7日(土)
六鹿茂夫氏(埼玉女子短期大学助教授)「モルドバ情勢」【於駒澤大学】
- 第91回研究会 平成4年11月28日(土)
丸山浩行氏(評論家)「ユーゴの内戦と国連のPKO活動」【於駒澤大学】
- 第92回研究会 平成5年1月30日(土)
平松茂雄氏(杏林大学教授)「中国の軍事情勢」【於駒澤大学】
- 第93回研究会 平成5年3月13日(土)
高井晉氏(防衛研究所研究室室長)「カンボディアのPKO活動を視察して来て」【於駒澤大学】
- 第94回研究会 平成5年5月29日(土)
福井祐輔氏(第一次PKO派遣幹部)「PKOから帰って」【於駒澤大学】
- 第95回研究会 平成5年7月3日(土)
佐藤克枝氏(陸上自衛隊衛生学校研究部)「UNTACにおける自衛隊の後方支援問題」
- 第96回研究会 平成5年10月2日(土)
菊池武文氏(ラジオ日本)「モザンビークにおけるPKO—ジャーナリストの立場から」【於駒澤大学】
- 第97回研究会 平成5年12月4日(土)
松浦一夫氏(防衛大学校講師)「ドイツのPKO参加について」【於駒澤大学】
- 第98回研究会 平成6年1月29日(土)
中野成典氏(PKO第一次派遣隊長)「モザンビークのPKOに参加して」【於駒澤大学】
- 第99回研究会 平成6年4月23日(土)
山下正光氏(防衛研究所所員)、岩田修一郎氏(防衛研究所研究調査官)、高井晉氏(防衛研究所研究室長)「TMD—そのハード、核戦略、法制度—」【於駒澤大学】
- 第100回研究会 平成6年7月2日(土)
湖田節子氏(防衛大学校講師)「宇宙の「平和的利用」における今日的意義」【於駒澤大学】
- 第101回研究会 平成6年11月26日(土)

- 杉山茂雄氏(法政大学教授)「国際法上の武力衝突」【於駒澤大学】
- 第102回研究会 平成7年4月22日(土)
眞邊正行氏(防衛法制研究家)「大規模震災をめぐる諸問題」【於駒澤大学】
- 第103回研究会 平成7年6月24日(土)
佐藤克枝氏(自衛隊中央病院企画室)「危機管理をめぐる諸問題—自衛隊の化学防護」【於駒澤大学】
- 第104回研究会 平成7年11月18日(土)
島村藤吉氏(本会会員)「日本国憲法オカノススム起源論」、小針司氏(岩手県立盛岡短期大学教授)「PKOの法的諸問題—統帥権再考」【於駒澤大学】
- 第105回研究会 平成8年4月13日(土)
山本達夫氏(内閣安全保障室)「新防衛大綱の策定経緯とその基本的考え方について」加藤朗氏(桜美林大学助教授)「冷戦後の日本の安全保障」【於駒澤大学】
- 第106回研究会 平成8年11月9日(土)
「日米防衛協力の新段階」
第1部「日米防衛協力問題の諸相」阪中友久氏(青山学院大学教授)、第2部「日米安保体制と基地問題」宝珠山昇氏(防衛装備協理事長)ディスカッサント:吉原恒雄氏(広島女子大学教授)、第3部「日米防衛協力の法的側面—ACSAの締結とガイドライン交渉のゆくえ—」浜谷英博氏(国士館大学教授)ディスカッサント:山口昇氏(陸上幕僚監部防衛調整官)【於駒澤大学】
- 第107回研究会 平成9年4月19日(土)
青山武憲氏(日本大学教授)「日本国憲法施行50周年の総括—第9条を中心として」、中野邦親氏(読売新聞社調査研究本部次長)「ジャーナリストから見た憲法『平和主義』50年の軌跡」、佐藤欣子氏(八千代国際大学教授)「日本国憲法の50年と日本人の防衛意識」【於駒澤大学】
- 第108回研究会 平成9年11月22日(土)
日米防衛協力のための指針(新ガイドライン)をめぐる法的諸問題—在外邦人救出、臨検・掃海、民間港湾施設等利用について—松島悠佐氏(元中部方面総監)、真山全氏(防衛大学校助教授)、松浦一夫氏(防衛大学校助教授)、富井幸雄氏(大東文化大学専任講師)【於駒澤大学】
- 第109回研究会 平成10年4月25日(土)
第1部「日米防衛協力のための指針に示された諸活動に關係する国際社会の実行と法」安保公人氏(海上自衛隊幹部学校室長)、第2部「国連海洋法条約と海上防衛力」①「国連海洋法条約におけるオーシャンガバナンスの概念」布施勉氏(横浜市立大学教授)②「国連海洋法条約の実施とPKO」高井晉氏(防衛研究所室長)【於駒澤大学】
- 第110回研究会 平成10年11月21日(土)
第1部「北朝鮮ミサイル発射問題の法的側面」森本敏氏(野村総合研究所主任研究員、慶應大学非常勤講師、中央大学客員教授)、第2部「国際法における承認と干渉」①「バルト三国をめぐる国家承認問題」杉山茂雄氏(法政大学名誉教授)②「ケベックの分離独立と国際法—カナダ最高裁判所の勧告的意見を素材にして」王志安氏(駒澤大学助教授)【於駒澤大学】
- 第111回研究会 平成11年4月24日(土)
テーマ:危機管理と法 第1部「内閣の危機管理能力」佐々淳行氏(元内閣安全保障室長)、第2部「情報と危機管理」①「情報と危機管理」吉原恒雄氏(拓殖大学教授)②「情報と国際法」斎藤洋氏(平成国際大学助教授)【於駒澤大学】
- 第112回研究会 平成11年11月20日(土)
テーマ:テロドム危機をめぐる法問題と朝鮮半島の現況 第1部「北朝鮮のミサイル脅威と戦域弾道ミサイル防衛」金斗煥氏(韓国航空宇宙法学会名誉会長、法学博士)、第2部「朝鮮半島の現況について」①「米国の対北朝鮮交渉」鈴木祐二氏(拓殖大学海外事情研究所教授)②「北朝鮮の

総体的脅威と日本の対応」荒木和博氏（拓殖大学海外事情研究所助教授）【於駒澤大学】

第113回研究会 平成12年5月13日（土）

第1部「憲法調査会第1ラウンドの評価」西修氏（駒澤大学教授）・青山武憲氏（日本大学教授）、第2部「朝鮮半島有事」壇雅昭氏・笠偵彦氏（三菱総合研究所）【於駒澤大学】

第114回研究会 平成12年11月18日（土）

テーマ『諸外国の緊急事態法制』『日本の有事法制整備のあり方について』西修氏（駒澤大学教授）、「アメリカにおける緊急事態法制」浜谷英博氏（松阪大学教授）、「ドイツにおける緊急事態法制」松浦一夫氏（防衛大学助教授）、「フランスにおける緊急事態法制」平野新介氏（青山学院大講師）、「大日本帝国憲法下における緊急事態法制」米丸嘉郎氏（元陸上幕僚監部法規班長）【於駒澤大学】

第115回研究会 平成13年5月12日（土）

『防衛法制の直面する新たな諸問題』—サイバー戦の現況とその法的評価について—
第1部「わが国の防衛法制が直面する新たな諸問題」志方俊之氏（帝京大学教授）、第2部「サイバー戦の現状と日本がとるべき対策」杉原修氏（(株)レイヤー・セブン社長）、「サイバー戦をめぐる国際法上の諸問題」岩本誠吾氏（鈴鹿国際大学教授）【於駒澤大学】

第116回研究会 平成13年11月17日（土）

第1部『日米地位協定の運用をめぐる諸問題』『日米地位協定の解釈・運用—国会論議を視点に—』櫻川明巧氏（東京国際大学講師）、「米軍基地と環境問題—米国法の視点から」永野秀雄氏（法政大学助教授）、ディスカッション：討論者＝杉山茂雄氏（法政大学名誉教授）、第2部『国際テロリズムと日米協力』『国際テロリズムとわが国の課題』小山内高行氏（外交評論家）、「国際テロ対処における日米協力のあり方」近藤剛氏（参議院議員）、「対テロ米軍作戦支援新法の問題点」西修氏（駒澤大学教授）【於駒澤大学】

第117回研究会 平成14年4月27日（土）

『総括—9/11』—米国テロ事件への各国の対応とその法的評価—
「英米の対テロ作戦の国際法的評価」三浦勉氏氏（東京財団研究員）、「米国の対応」宮脇孝生氏（流通経済大学教授）、「英国の対応」清水隆雄氏（国立国会図書館調査及び立法考査局）、「ドイツの対応」松浦一夫氏（防衛大学校助教授）、「日本の対応」西修氏（駒澤大学教授）【於駒澤大学】

第118回研究会 平成14年12月14日（土）

第1部「いわゆる基地騒音公害訴訟について」青山武憲氏（日本大学教授）、第2部「防衛庁長官に就任して—当面の政策課題と今後の展望」石破茂氏（防衛庁長官）【於駒澤大学】

平成15年特別講演会 平成15年2月4日

「宗教的自由 vs. 国家安全保障」(Religious Freedom versus National Security) 講師：シルヴィオ・フェラーリ博士 (Prof. Dr. Silvio Ferrari イタリア・ミラノ大学法学部教授) 【於日本大学】

第119回研究会 平成15年5月17日（土）

第1部「有事関連法案の国会審議について」浜谷英博氏（松阪大学教授）、第2部「イラク戦争をめぐる国際政治—アメリカ—極支配の定着か、破綻か—」浜田和幸氏（国際政治学者）、「日米同盟と国連中心主義—イラク戦争をめぐる日本外交の問題点—」秋山昌廣氏（元防衛事務次官・シブアンドオーシャン財団会長）【於駒澤大学】

第120回研究会 平成15年11月29日（土）

第1部「イラク戦争の違法性・合法性」小林宏農氏（日本大学教授）、第2部「国民保護法制制定に向けての自治体の取り組み—鳥取県の場合—」眞邊正行氏（本会理事）、蜂巣都雄氏（本会顧問）【於駒澤大学】

第121回研究会 平成16年5月8日（土）

第1部「自衛隊をめぐる現今の法的諸問題—国民保護法制、自衛隊のイラク派遣などとの関連に

おいて—」松島悠佐氏（元中部方面総監）、第2部「サイバー戦への国内法整備—特に米国における国防情報システムの運営・調達・組織について—」永野秀雄氏（法政大学教授）【於駒澤大学館246】

第122回研究会 平成16年11月13日（土）

第1部「憲法と自衛隊の半世紀—政府解釈の問題点を中心に—」西修氏（駒澤大学教授）、第2部「米軍の再編とわが国の安全保障」加藤朗氏（桜美林大学教授）【於駒澤大学】

第123回研究会 平成17年5月14日（土）

第1部「衆参憲法調査会報告書を読む—メディアの視点から見た評価—」山本大二郎氏（読売新聞調査研究本部主任研究員）、中静敬一郎氏（産経新聞論説副委員長）、第2部「政党改憲案および民間改憲私案等について」池田美氏（山梨大学助教授）【於駒澤大学館246】

第124回研究会 平成17年11月12日（土）

第1部「危機管理政策の課題—特に地方自治体の取り組みについて—」浜谷英博氏（三重中京大学教授）、「阪神淡路、9.11後の政府の危機管理政策と課題」柳澤協二氏（内閣官房副長官補）、第2部「記念講演「自衛隊の軌跡—3自衛隊の統合運用を中心に—」佐久間一氏（元統合幕僚会議議長）【於駒澤大学館246】

第125回研究会 平成18年5月13日（土）

第1部「日本のテロ対処能力と安全保障—現状と問題点—」山崎元泰氏（早稲田大学大学院政治学研究所講師）、第2部「軍事裁判所と法曹の関与」堤淳一氏（弁護士）、第3部「自民党新憲法草案について—特に第9条関連を中心に—」田村重信氏（自由民主党政務調査会首席専門員、慶應義塾大学大学院法学研究科講師）【於駒澤大学】

第126回研究会 平成18年10月28日（土）

第1部「安全保障に関する憲法論議の動向とその背景」橋本靖明氏、長須賀明彦氏（防衛研究所）、「アメリカ合衆国における「戦時」の憲法と適正手続の保障」山中倫太郎氏（防衛大学校）、第2部：特別講演「日米安全保障協力の新展開と防衛法制—我が国の防衛法体系整備に向けての課題」守屋武昌氏（防衛事務次官）【於駒澤大学館246】

第127回研究会 平成19年5月12日（土）

第1部「中国とのEEZ・大陸棚・島嶼をめぐる対立と今後の対策—国際法の視点から—」安保公人氏（拓殖大学教授）、第2部「アメリカ憲法における民兵と武器携帯権」青山武憲氏（日本大学教授）【於駒澤大学館246】

第128回研究会 平成19年12月1日（土）

第1部：講演「特措法に基づく航空自衛隊の活動について」山下愛仁氏（航空自衛隊）、第2部：報告「安保法制懇の報告書について」西元徹也氏（元統幕議長）、西修氏（駒澤大学法学部教授）【於駒澤大学】

第129回研究会 平成20年5月24日（土）

報告1「安全保障環境の変化と我が国防衛関連法制の課題」林浩一氏（防衛大安全保障危機管理教育センター教授）、報告2「日米の防諜体制の比較」永野秀雄氏（法政大学教授）、報告3「国際テロリズムと国家の責任」高井晋氏（尚美学園大学大学院客員教授）【於駒澤大学館246】

第130回研究会 平成20年11月29日（土）

第1部：自衛隊の活動時における法的諸問題「自衛隊の活動時における法的制約」佐藤克枝氏（陸上自衛隊）、「自衛隊の国際協力活動時における法的制約」千川一司氏（航空自衛隊）、第2部：宇宙基本法の法的諸問題「宇宙基本法の法的問題点—とくに安全保障の観点から—」米田富太郎氏（中央学院大学客員教授）【於駒澤大学】

第131回研究会 平成21年5月30日（土）

報告1:「ソマリア沖海賊の実態と各国の対応」上野英詞氏(海洋政策研究財団参与)、報告2:「ソマリア沖海賊問題の法的側面」高井晉氏(尚美学園大学大学院客員教授)、報告3:「ソマリア沖海賊対処と日本の安全保障にとっての意味合い」森本敏氏(拓殖大学海外事情研究所長)【於駒澤大学】

第132回研究会 平成21年11月7日(土)

共通テーマ『国際テロリズム対策』報告1:「イギリスの対テロ政策」篠西信二氏(早稲田大学博士課程)、報告2:「カナダの対テロ政策」富井幸雄氏(首都大学東京法科大学院教授)、報告3:「アメリカの対テロ政策」宮坂直史氏(防衛大学校国際関係学科教授)、報告4:「日本の対テロ政策」河本志朗氏(公共政策調査会第二研究室長)【於駒澤大学】

第133回・合同研究大会・公開シンポジウム(＋日本防衛学会) 平成22年5月15日(土)

『日米安保体制の50年～その回顧と展望 50 Year's Japan-U.S. Security Arrangements-Retrospect and Prospect』第1セッション「日米安保体制の回顧」報告1:「日米安保体制の法的側面」高井晉氏(尚美学園大学大学院客員教授)、報告2:「日米安保の政治外交的側面」渡邊昭夫氏(東京大学名誉教授)、第2セッション「日米安保体制の実際」司会兼コメンテーター＝五浦旗頭真(防衛大学校長)、報告1:「米側から見た日米安保体制の実際」ジョージ・バカード氏(米日財団理事長・元ライシャワー大使特別補佐官)、報告2:「日本側から見た日米安保体制の実際」加藤良三氏(前駐米大使)、第3セッション「日米安保体制の展望」パネリスト＝長島昭久氏(民主党衆議院議員・防衛大臣政務官)、林芳正氏(自由民主党参議院議員・元防衛大臣)、西修氏(駒澤大学教授)、志方俊之氏(帝京大学教授・元陸上自衛隊北部方面総監)、司会兼コメンテーター＝富澤澤(東洋学園大学客員教授・元陸上幕僚長)【於駒澤大学深沢キャンパス・アカデミーホール】

第134回研究会 平成22年10月23日(土)

共通テーマ『大規模震災と自衛隊』報告1:「ハイチ震災派遣の活動概要」小倉博之氏(ハイチ派遣国際救援隊第1次要員副隊長)、報告2:「国際緊急援助活動の現状と課題」佐藤康八氏(陸上自衛隊幹部学校教官)、報告3:「災害派遣活動に係わる行政レベルの課題」佐藤喜久二氏(総合防災ソリューション特任参与)、報告4:「阪神淡路大震災の経験と防災都市計画」神藤猛氏(防災科学技術研究所地震防災フロンティアセンター主幹研究員)【於駒澤大学】

第135回研究会 平成23年5月15日(日)

共通テーマ『国家主権』報告1:「国家主権再考ー誇張する中国とどう向き合うか」渡辺利夫氏(拓殖大学学長)、報告2:「海洋の安全保障と利益保全」安保公人氏(拓殖大学大学院教授)、報告3:「国家主権と憲法」浜谷英博氏(三重中京大学教授)、ユースコーカス(第1回)「自衛隊の国際平和協力活動における民軍関係」佐藤智恵氏(防衛大学校総合安全保障研究科特別研究員)【於拓殖大学国際教育会館】

第136回研究会 平成23年11月23日(日)

「日米同盟と拡大抑止」矢野義昭氏(岐阜女子大学客員教授)、「日米防衛協力:2+2共同発表後の産業協力における法的問題」佐藤内牛氏(拓殖大学教授)、「刷り込まれた護憲意識と憲法改正」西修氏(駒澤大学名誉教授)、ユースコーカス(第2回)「情報保全のあり方」上野優子氏(早稲田大学大学院博士後期課程)、「安全保障基本法と石破試案の検討」吉村真央氏(衆議院議員石破茂政策担当秘書)【於拓殖大学】

第137回研究会 平成24年5月27日(日)

「中央防災会議における災害応急対策の検討状況と課題」佐藤康八氏(陸上自衛隊幹部学校)、「東日本大震災における災害対処の教訓と課題」山本忠雄氏(防衛大学校)、国民保護措置における課題」山之内裕氏(防衛大学校)、ユースコーカス「現代シーパワーの特徴

から考える中国シーパワーに対する懐疑点」関根大輔氏(海洋政策研究財団)・高井晉氏(尚美学園大学大学院客員教授)【於拓殖大学】

第138回研究会 平成24年11月25日(日)

「韓国竹島領有論の再吟味ー第2次日韓領土紛争ー」高井 晉氏(尚美学園大学大学院客員教授)、「尖閣諸島と日本の領有権ー国際法的及び歴史的考察ー」尾崎重義氏(筑波大学名誉教授)、「領土問題とナショナリズム」潮 匠人氏(拓殖大学日本文化研究所客員教授)、ユースコーカス「日本の大陸棚延長申請ー他国からの意見表明とCLCS勧告ー」井内由美子氏(海洋政策研究財団研究員)・高井晉氏(尚美学園大学大学院客員教授)【於拓殖大学】

第139回研究会 平成25年6月2日(日)

「我が国の周辺事態への対処法制のレビュー(報告内容)①周辺事態安全確保法の概要、②弾道ミサイル破壊措置の概要、③国際司法裁判所の管轄権の概要」防衛法学会事務局、「産経新聞『国民の憲法要綱』提言の概要」田久保忠衛氏(杏林大学名誉教授)、百地章氏(日本大学教授)、西修氏(駒澤大学名誉教授)、ユースコーカス「ポスト・アラブの春における中東のテロ情勢ー拡大するジハードネットワークー」和田大樹氏(清和大学講師)・高井晉氏(尚美学園大学大学院客員教授)【於拓殖大学】

第140回研究会 平成25年10月27日(日)

共通テーマ『憲法と安全保障』(報告内容)①「(GHQ)民政局担当であった安田寛・初代防衛法学会名誉理事長に捧ぐ」日本国憲法オカノススム起源論ー平和主義を中心として」講師:嶋村藤吉氏(上海市精華外語専修学院客員教授)、②「日本国憲法講義ー前文、九条、九六条などの正しい解説ー」講師:田村重信氏(慶應義塾大学大学院講師)、③「保守合同と憲法問題」講師:丹羽文生氏(拓殖大学准教授)、④「わが国における軍事裁判のあり方ー自由民主党『日本国憲法改正草案』を検討素材として」講師:福富俊幸氏(防衛大学校准教授)、⑤「国際法からみた日本の安全保障と憲法9条の改正」講師:安保公人氏(拓殖大学教授)、⑥「ドイツ基本法防衛・安全保障関係規定の改正と変質ー改憲と解釈改憲ー」講師:松浦一夫氏(防衛大学校教授)、⑦「敵基地攻撃機能と抑止力」講師:吉原恒雄氏(尚美学園大学大学院客員教授)【於拓殖大学】

第141回研究会 平成26年5月31日(土)

公開シンポジウム「集団的自衛権と日本の安全保障」、講師:森本敏氏(前防衛大臣)、西修氏(駒澤大学名誉教授)、西元徹也氏(元統合幕僚会議議長)、田村重信氏(自民党政調会調査役)【於拓殖大学】

第142回研究会 平成26年11月16日(日)

報告1『安全保障法制整備のあり方』:「今後の安全保障法制はどうなるか?」田村重信氏(自由民主党政務調査会調査役)、「日本におけるグレーゾーンの起源」中村進氏(海上自衛隊幹部学校主任研究開発官)、報告2『憲法第9条の下で許容される自衛の措置』:「必要最小限度の集団的自衛権とは何か」里永尚太郎氏(同志社大学大学院総合政策科学研究科博士課程)、「専守防衛と自衛権」安保克也氏(大阪国際大学グローバルビジネス学部准教授)、報告3『武力攻撃に至らない侵害への対処』:「いわゆるグレーゾーンにおける有効な法整備」安保公人氏(拓殖大学政経学部教授)、「武力攻撃に至らない侵害への対処:警察権と自衛権」御簾納直樹氏(本会会員)、「領域警備」概念の意義と課題」田中誠氏(防衛大学校防衛学教育学群国防論教育室教授)、報告4『総括』:「安保法制に伴う日本の安全保障政策」森本敏氏(拓殖大学特任教授・元防衛大臣)【於拓殖大学】

第143回研究会 平成27年6月28日(日)

共通テーマ『国際テロの脅威と日本の安全保障』:「イスラム国の台頭によるアルカイダの衰退の検証ーグローバルジハード論とFar enemy/Near enemy論による分析からー」和田大樹氏(清和

大学講師)、「海賊対処の法解釈」児島健介氏(防衛省統合幕僚監部首席法務官付)、「テロに対する国際社会の取組と我が国の対応～法制上の観点から～」佐藤廉八氏、「アメリカ外交の失敗とISの台頭」小山内高行氏(外交評論家)【於拓殖大学】

第144回研究会 平成27年10月25日(日)

共通テーマ『海洋安全保障の法的諸問題』:報告1「領域警備行動によるグレーゾーン事態への切れ目のない対応の可能性～海洋安全保障に関する想定事案の個別分析を通して～」宇佐美淳氏(法政大学大学院研究生)、報告2「同盟国の他国との領土紛争に際して米国はいかに対応してきたか～その対応事例からみた根拠法制と行動の共通的特徴～」矢野義昭氏(拓殖大学客員教授)、報告3「東シナ海防空識別区(East China Sea ADIZ)の設定とわが国の対応～『日中東シナ海空域安全対話』を通じて～」永岩俊道氏(元航空自衛隊空将)【於拓殖大学】

第145回研究会 平成28年5月15日(日)

共通テーマ『国家緊急事態と憲法改正の方向性～憲法第9条と危機管理法制』:報告1『危機管理法制』に対する地理学的な関心の必要性:小笠原諸島を題材にして」福本慧氏(日本女子大学学術研究員)、報告2「国家非常事態における破壊活動防止法による対処とその憲法上の限界」今井慶宗氏(関西女子短期大学講師)、報告3「サイバー空間を利用した対抗措置の可能性と限界」福富俊幸氏(航空自衛隊幹部学校)、基調講演「今、何が問われるべきか」西修氏(駒澤大学名誉教授)、報告4「憲法9条と安全保障～憲法改正の方向性について」安保克也氏(大阪国際大学准教授)、報告5「危機対処手段としての憲法第9条改正の実質的相当性」森下輝久氏(関西自治体法務研究会代表)、報告6「平和安全法制後の憲法改正と憲法第9条と緊急事態・危機管理」田村重信氏(自由民主党政務調査会審議役)、報告7「日米安保条約第5条改正の必要性について」佐藤廉八氏(千葉科学大学教授)【於拓殖大学】

第146回研究会 平成28年11月13日(日)

共通テーマ:「新たな国際平和と支援のあり方の検討」:基調講演 田村重信氏(自民党政務調査会審議役、拓殖大学桂太郎塾名誉フェロー)「冷戦後の国際平和と支援法制～歴史・現状・課題～」、報告1 能勢伸之氏(フジテレビジョン報道局解説編集部解説担当)「安保法制と日本の防衛体制への影響可能性」、報告2 山本慎一氏(香川大学准教授)「国際平和活動の潮流と国際平和協力活動の展望～平和安全法制の整備を踏まえて」、報告3 川口智恵氏(独立行政法人国際協力機構JICA研究所研究員)、「新たな国際支援のあり方の検討」、報告4 田中(坂部)有佳子氏(早稲田大学政治経済学術研究員助手)「治安部門改革における「ハイブリットな平和」への課題」、報告5 佐藤克枝氏(陸上自衛隊小平学校人事教育部研究科)「多国籍間協力と民軍連携」【於拓殖大学】

第147回研究会 平成29年5月14日(日) 令和5年度防衛法学会秋季研究大会

共通テーマ:「安全保障のグローバリズムと一国主義～日本の防衛戦略と課題～」:基調講演 森本 敏氏(拓殖大学総長・元防衛大臣)「安全保障のグローバリズムと一国主義～防衛戦略と課題～」、報告1 上原 広氏(衆議院議員政策担当秘書)「自衛権を立法化することの意味とは～国会の関与の意味するもの～」、報告2 野村明史氏(拓殖大学海外事情研究所助手)「サウジアラビアの法整備から見る日本のテロ対策」、報告3 西田一平太氏(笹川平和財団研究員)「戦略援助2.0～志向すべき日本の対外援助」、報告4 田中 誠氏(防衛大学校教授)「グローバル化時代における国際法による安全保障の現状と課題」【於拓殖大学】

第148回研究会 平成29年10月29日(日) 令和6年度防衛法学会春季研究大会

共通テーマ:「装備・技術移転と教育研究～日本における法のあり方～」:基調講演 佐藤丙午氏(拓殖大学教授)「我が国の安全保障政策と防衛装備移転」、報告1 吉田孝弘氏(防衛装備庁会計官、前事業監理官)「我が国における防衛産業の意義・特性と防衛装備移転の課題」、報告2 川西宗

勝氏(航空自衛隊幹部学校)「防衛装備の移転に関する法的視野」、報告3 田村重信氏(自民党政務調査会審議役、拓殖大学桂太郎塾名誉フェロー)「憲法と武器輸出三原則及び防衛装備移転三原則の関係」【於拓殖大学】

第149回研究会 平成30年5月20日(日)

テーマ1:「憲法改正の課題」:報告1 石橋早苗氏(拓殖大学大学院国際協力学研究科安全保障専攻博士後期課程)「軍刑法の必要性に関する検討～欧米諸国の現行法制及び戦前日本の法制を手掛かりとして」、報告2 安保克也氏(福山市立大学都市経営学部講師)「憲法改正の課題～9条について」、テーマ2:「国際社会における武力行使の権限」:報告3 土屋貴裕氏(慶應義塾大学SFC研究所上席所員)「中国の「戦争に至らない準軍事作戦」への対応」、報告4 矢野義昭氏(拓殖大学客員教授)「日中の国防動員体制の格差について～国内の法的環境整備の視点から」、報告5 安保公人氏(拓殖大学教授)「現代の国際社会が許容する武力行使～jus ad bellum」【於拓殖大学】

第150回研究会 平成30年10月28日(日)

共通テーマ:「旧憲法下における軍法制」:報告1 荒邦啓介氏(高岡法科大学助教)「『統帥権論争』前史～大正末・昭和初期における陸海軍の「統帥権研究」」、報告2 今井慶宗氏(関西女子短期大学講師)「防空従事者に関する法制の研究～防空監視隊・警防団を中心に」、報告3 児島健介氏(海上幕僚監部首席法務官付)「日本海軍における海上の軍事目標」、報告4 島田征夫氏(早稲田大学名誉教授)「明治期における国際法の導入と軍隊」【於拓殖大学】

第151回研究会 令和元年5月25日(土)

統一テーマ:「憲法改正～第9条と緊急事態条項～」:基調講演 西修氏(防衛法学会名誉理事長、駒澤大学名誉教授)「憲法改正論議」、報告1 岡島実氏(第九法律事務所弁護士)「主権回復期の弁護士層における九条改憲論について」、報告2 安保克也氏(福山市立大学都市経営学部)「行政機関と個人情報～自衛隊情報保全隊事件を題材に」、報告3 田村重信氏(拓殖大学桂太郎塾名誉フェロー)「日本国憲法の欠陥(第9条、緊急事態)～冷戦後の自民党・憲法改正論議の変遷」、報告4 松浦一夫氏(防衛大学校教授)「日本国憲法と緊急事態条項～参議院緊急集会制度は非常事態を想定しているか」【於東洋大学】

第152回研究会 令和元年10月27日(日)

統一テーマ:「我が国の国際平和協力活動の在り方」:基調講演 佐藤廉八氏(防衛法学会副理事長、千葉科学大学教授)「我が国の今後の国際平和協力活動の在り方～外務省補助金事業を踏まえて～」、報告1 田中(坂部)有佳子氏(青山学院大学助教)西田一平太氏(笹川平和財団主任研究員)「オランダの国際平和活動と教訓:バイマルチ支援の活用」、報告2 本多倫彬氏(キャンングローバル研究所 研究員)「国際平和協力のスマートな活用:豪州を参考に」、報告3 佐藤克枝氏(ノースアジア大学准教授)「我が国のこれまでの国際貢献の実績と課題」、報告4 山本慎一氏(香川大学准教授)「国際平和協力法制における新たな業務の意義とその課題」、質疑応答及び討議 司会:高井晋氏(防衛法学会名誉理事長)【於拓殖大学】

第153回研究会 令和3年6月19日(土)

テーマ:「自由論議」:報告1 宇佐美淳氏(法政大学大学院博士後期課程修了・博士)「海洋安全保障分野における武器使用の警察作用と防衛作用に関する考察～中国海警法の施行と中国海警局による領海侵入事案を題材に」、報告2 川村将義氏(陸上自衛隊)「サイバー行動に関する法的論点」、報告3 児島健介氏(横須賀市役所)「中東における自衛隊による情報収集活動」、報告4 鈴木和之氏(元陸上自衛隊小平学校法務教官室長)「国際人道法テキストに関する一考察～その構成と諸原則を中心に」、報告5 矢野義昭氏(岐阜女子大学特別客員教授)「感染症対策関連法規の国際比較と日本の関連法制の特色～権限と強制性を焦点に」【於TKP神田駅前ビジネスセ

ンター]

第154回研究会 令和3年10月30日(土)

統一テーマ:『自由論:主として「経済安全保障」、「軍事技術と法」を視点として』
講演1 佐藤正久氏(参議院議員)「安全保障上の諸課題~防衛法学会へ期待すること~」
講演2 櫻林美佐氏(ジャーナリスト)「防衛生産・技術基盤と経済安全保障」
報告1 安保克也氏(福山市立大学)「技術やデータの流出防止に関する一考察~国家安全保障の視点から~」、報告2 陣内徹之助氏(陸上自衛隊)「サイバー空間における紛争への国際法の適用~対抗措置による法的対応要領~」【於TKP神田ビジネスセンター】

第155回研究会 令和4年5月28日(土)

統一テーマ:「新軍事技術と国際法」
基調講演 佐藤麻八氏(千葉科学大学教授)「自衛隊の行動・運用にかかる検討課題」
報告1 岩本誠吾氏(京都産業大学客員教授)「AI自律兵器規制の方向性~倫理規範から法規範へ、人道法から軍縮法へ」、報告2 橋本豪氏(外国法事務弁護士・澁美坂井法律事務所シニアパートナー)「米宇宙軍の戦略に見る近未来宇宙戦とその国際法的検討」、報告3 真山全氏(大阪学院大学教授)「宇宙空間核爆発による電磁波攻撃とジュネーブ諸条約第1追加議定書~作戦ドメイン超越型行動の評価」【於TKP市ヶ谷カンファレンスセンター】

第156回研究会「憲法学会・防衛法学会共催シンポジウム」令和5年6月17日(土)

テーマ:「日本国憲法と安全保障法~いま日本が直面する諸問題の解決に何が必要か」
基調講演1 兼原信克氏(同志社大学特別客員教授)「憲法と日本の安全保障」、基調講演2 田村重信氏(日本国際問題研究所客員研究員)「平成の防衛政策・法制の変遷と憲法改正」、発表1 池田実氏(日本大学法学部教授)「安全保障をめぐる憲法審査会の動向」、発表2 齋藤洋氏(東洋大学法学部教授)「武力紛争と人権~戦場における人権と適用法に関する問題~」、発表3 下山憲二氏(海上保安大学校海上警察学講座教授)「武力攻撃事態等における海上法執行機関の法的地位と課題」、発表4 永野秀雄氏(法政大学人間環境学部教授)「能動的サイバー防衛とはなにか~その法的フレームワークと実施主体に関する議論~」【於日本大学法学部1011講堂】

第157回研究会 「令和5年度防衛法学会秋季研究大会」令和5年10月21日(土)

統一テーマ「軍事司法制度の検討-自衛隊に必要な制度とは-」
基調講演 佐藤麻八氏(千葉科学大学)「旧陸軍刑法と自衛隊罰則規定との比較」、報告1 諏訪健太郎氏(陸上幕僚監部法務官付)「米国軍事司法制度の概要」、報告2 佐藤克枝氏(ノースアジア大学)「警務隊の捜査権と警察との関係」、報告3 田中 誠氏(防衛大学校)「防衛出動時における戦争犯罪捜査の課題-戦争犯罪の保護法益から見た刑事実体法の欠缺-」【於お茶の水女子大学共通講義棟2号館102教室】

第158回研究会 「令和6年度防衛法学会春季研究大会」令和6年6月8日(土)

統一テーマ「我が国における軍事司法制度の在り方-国際法と国内法の観点から-」
発表1 久保田隆氏(信州大学)「国内法に基づく中核犯罪の訴追・処罰-ドイツ『国際刑典』を素材として-」、発表2 瀧本京太郎氏(防衛大学校)「自衛隊員に対する罰則規定の拡充について」、発表3 永福誠也氏(防衛研究所)「国際刑事裁判所規程中の処罰に関する特則-上官命令と上官責任に関する規定について-」、発表4 林浩一氏(防衛研究所)「戦争犯罪の処罰に係る日本の法制の現状と今後の課題についての一考察」【於東洋大学白山キャンパス6号館2階6211教室】

既刊号内容紹介

◆下記は『防衛法研究』創刊号(1977年)からの各巻の目次を元に修正したものである。

『防衛法研究』創刊号(1977年)

Table with 2 columns: Article Title and Author. Includes sections like 憲法第九条の思い出, 憲法第九条と自衛隊, 防衛二法概説, etc.

『防衛法研究』第2号(1978年)

Table with 2 columns: Article Title and Author. Includes sections like 防衛法研究第二号の発刊に当たりて, 自衛隊裁判と統治行為, etc.